

第5回 大関和の生誕地

本市出身の大関和(1858-1932)は、日本で最初期のトレインドナース(正規の訓練を受けた看護師)の1人で、看護界に多大な貢献をしたことから「明治のナイチンゲール」とも呼ばれています。

大関和は、故郷の黒羽でどのように過ごしていたのでしょうか？残念ながら資料が無いため、詳しいことは分かっていません。しかし、父親の大関弾^{だんぬしもんますとら}右衛門増虎の屋敷があった場所は分かっています。

大関家伝来の資料や現在黒羽芭蕉の館で展示している屋敷の配置図によると、増虎の屋敷は大雄寺から数えて南側9軒目、大宿街道^{だいじゅくかいどう}沿いにありました。和も、ここで生まれ育ったと考えられています。大宿街道は、黒羽城の南側の外郭にあたる場所で、黒羽藩士の屋敷が並んでいました。この場所には、現在は黒羽小学校のプールがあります。ちなみに、プールの西側は眺めが良く、那珂川や高原山、那須岳(茶臼岳)を望むことができます。もしかすると、和も同じ場所から景色を眺めていたのかもしれませんが。

皆さまも、現地で和と同じように眺めてみてください。



和の生誕地と大宿街道

【イベント情報】『明治のナイチンゲール 大関和物語』著者・田中ひかるさん講演会

2026年度前期連続テレビ小説「風、薫る」(NHK)の原案の著者・田中ひかるさんをお招きし、講演会を開催します。

- 日時 1月31日(土) 13:30～15:30
- 場所 那須野が原ハーモニーホール 大ホール
- 申込 不要

問文化振興課 本4階

TEL 0287-23-3135

詳細は、市HPを
ご覧ください。

